

住民福祉の向上は

持続可能な福祉環境をつくる

町長



吉原 美智恵 議員



安心して長生きできる町へ（社協名和支所）

【吉原】 地方分権の加速にともない、行政も議会も住民の福祉向上という大きな目的において役割と責任は重くなるばかりである。

高齢化の進行で社会保障費が増大するなか、介護予防事業の成果は。

また、未来づくり10年プランで掲げられている福祉向上の推進は。

【町長】 町では保健・医療・福祉の各分野の連携をはかりながら、介護予防事業へのスムーズな移行へとつなげ、介護予防、生活支

援サービス事業を主体的に行っている。

高齢者福祉施策は、着実に推進している。

【吉原】 町民の福祉向上に大切な役割を担っている社会福祉協議会のサービス事業について住民から不満の声を聞いている。町民のためにも協議し支えていく姿勢が必要と思う。

認知症など、デイサービスに通うことで重症化せず、医療費も抑制されるのではないか。

【町長】 持続可能な福祉環境をつくっていく。

大山恵みの里公社の

現状とこれからは

町長

内部改革を進めていく

【吉原】 大山恵みの里公社は、農林水産業、特産品、食の領域で民間や住民活動をけん引する機関として立ち上げられた。現状とこれからは。

【町長】 この3年間赤字決算となり、経営改善に向けた取り組みを行っている。

赤字となっていた、農産物加工施設の運営からの撤退を決断した。

これからは内部改革を進め、官・民の担うべきものを整理していく。

【吉原】 健全化方針は理解するが、公社の企業努力は重要である。

町長の所信表明では、補助金がなくても

経営できる体制の取り組みを進めていくとしているが、検証が必要では。

また、公益事業を含むことは承知しているが、道の駅の運営など、

メニューの創意工夫、接客態度の向上、観光案内などに改善が必要ではないか。

【町長】 改革の方向性を見きわめ改善していく。



にぎわいのある道の駅へ